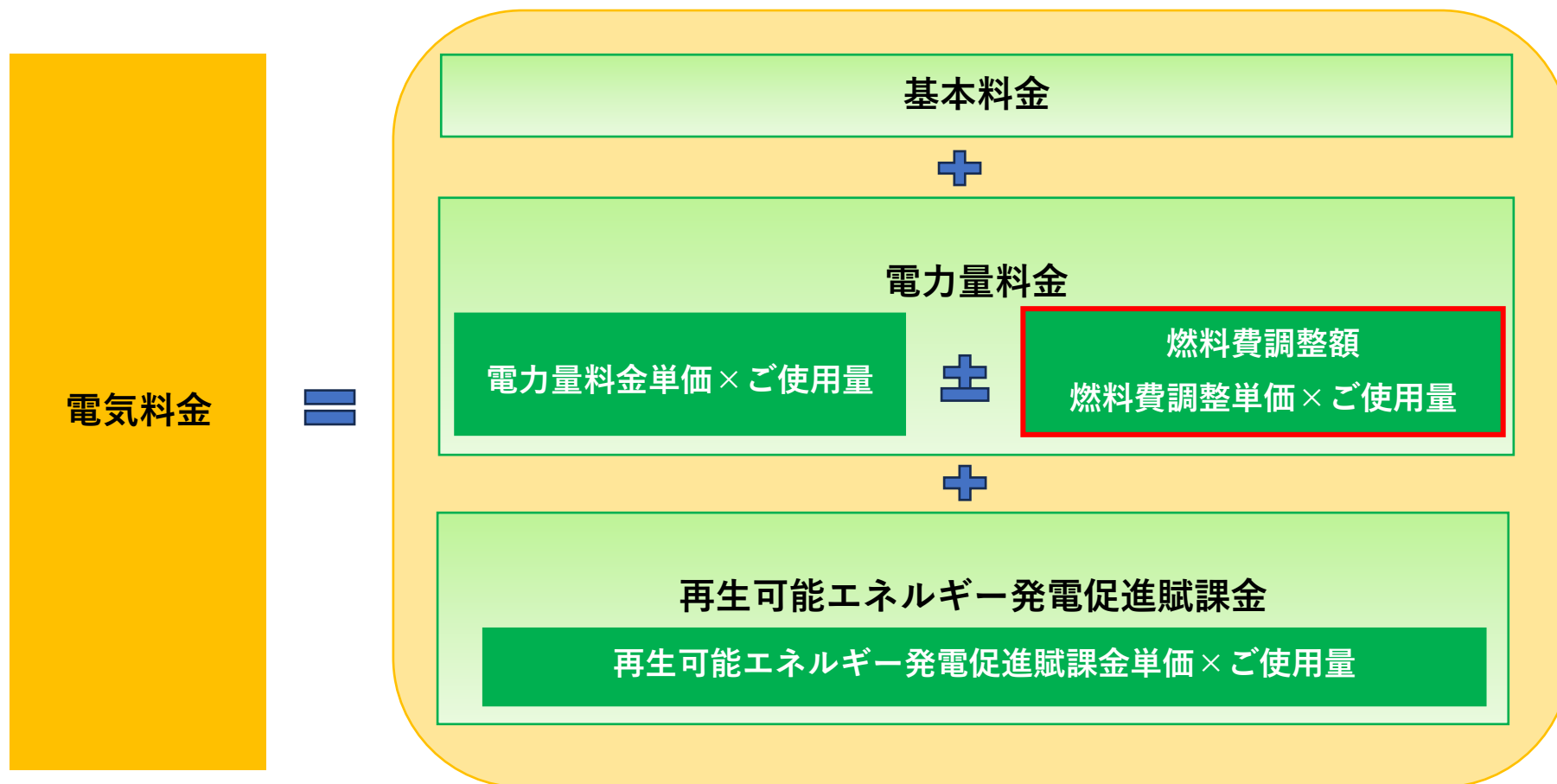


燃料費調整制度について

燃料費調整制度とは①

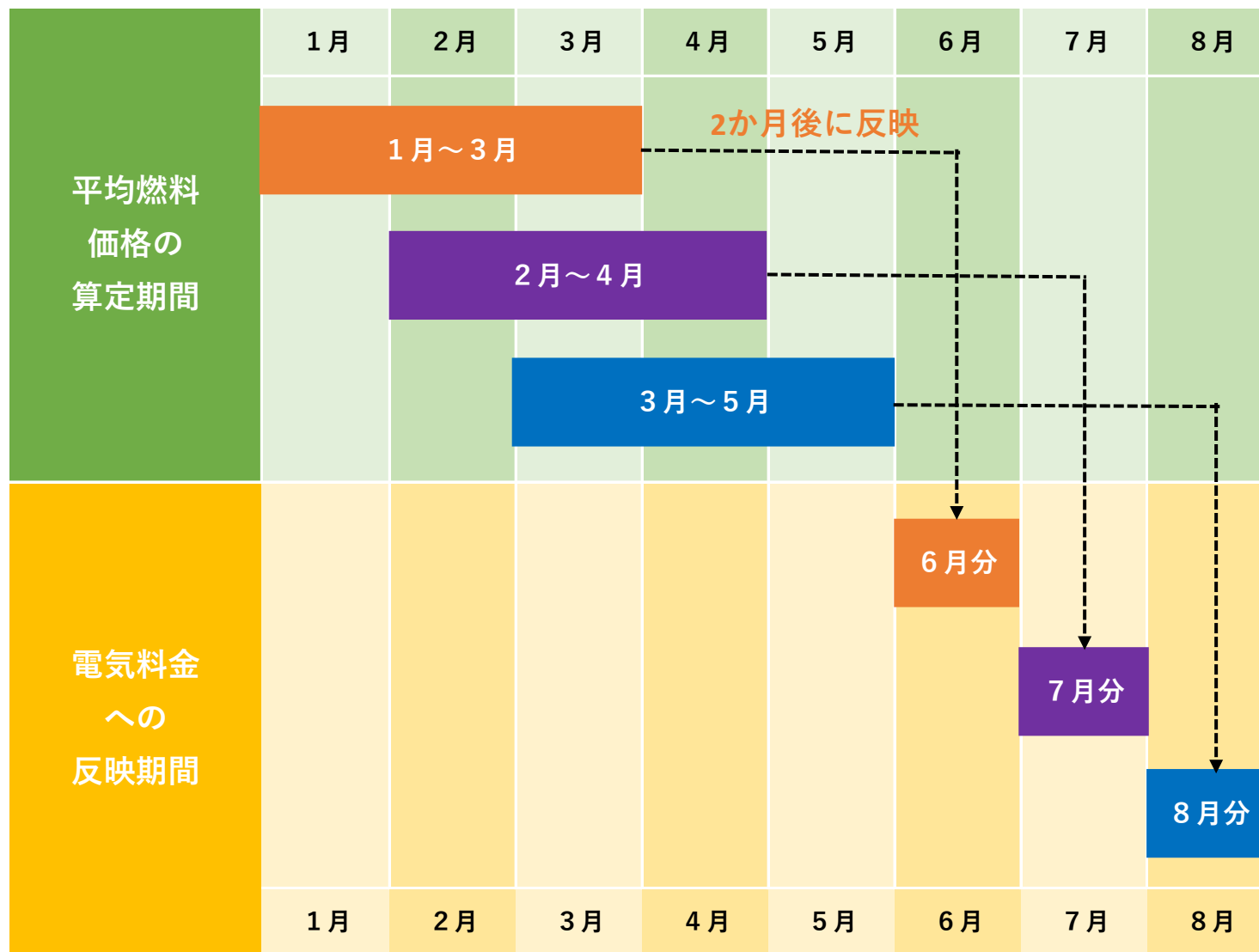
- 電気をつくるために必要な燃料（原油・LNG [液化天然ガス]・石炭）の価格は、市場や為替などの外部要因により変動します。
- 燃料費調整制度は、これらの価格変動に応じて電気料金を調整するしくみです。

○ 電気料金の計算方法



燃料費調整制度とは②

○ 電気料金への反映イメージ



平均燃料価格の算定期間	燃料費調整が反映される電気料金
1月～3月	6月分
2月～4月	7月分
3月～5月	8月分
4月～6月	9月分
5月～7月	10月分
6月～8月	11月分
7月～9月	12月分
8月～10月	翌年1月分
9月～11月	翌年2月分
10月～12月	翌年3月分
11月～翌年1月	翌年4月分
12月～翌年2月	翌年5月分

燃料費調整単価の算定方法

○ プラス調整

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{①調整の基準となる燃料価格} - \text{②平均燃料価格}) \times \frac{\text{③基準単価}}{1,000}$$

○ マイナス調整

$$\text{燃料費調整単価} = (\text{①平均燃料価格} - \text{②調整の基準となる燃料価格}) \times \frac{\text{③基準単価}}{1,000}$$

① 平均燃料価格

原油・LNG・石炭それぞれの3ヶ月の貿易統計価格（実績）をもとに計算いたします。

② 調整の基準となる燃料価格

東京電力エリア	86,100円
---------	---------

③ 基準単価

平均燃料価格が1,000円/k | 変動した場合の燃料費調整単価です。

【従量制供給の場合】

東京電力エリア	0.183円/kWh
---------	------------